発行●生活協同組合コープやまぐち　〒753-0872　山口市小郡上郷10901-21　TEL.083-995-3600　FAX.083-995-3711　ホームページアドレス https://yamaguti-coop.or.jp
編集●広報戦略スタッフ　TEL.083-902-3023　FAX.083-995-3712　E-mail info@yamaguchi.coop

コープの なかま

綺麗な海を守るため 子どもたちと一緒に考える環境のこと

8月20日(金)にオンラインで行われた恩納村産もずくの産地交流会。その参加者である組合員の兼重さんに、交流会を通して考えたことや意識したことについてお聞きしました。

▲オンライン交流会に参加する兼重さん親子

環境のことを一緒に学ぶ機会に

兼重さんは、山口市にお住まいの6人家族のお母さんです。上は小学5年生、下は2歳の育ちざかり4人のお子さんたち。「元々海や魚が好きで、子どもたちと一緒によく海釣りに行っていました。長男なんかは、自分で魚をさばくんですよ」。海が身近にある生活の中で、コープのチラシを見て今回の交流会のことを知ったといいます。「ちょうど夏休みの自由課題を考えていたこともあり、海の環境について一緒に学ぶことができるこの企画がぴったりだと思い、応募しました」。もずく交流会には、4人のお子さんたちと参加し、自宅にいながら恩納村漁協の方や他生協の組合員さんと交流できたことが子どもたちの学習の機会にもなったと話す兼重さん。「子どもに環境のことを教えるのはとても難しいと思っていました。けれど、交流会が始まったら子どもたちみんなパソコンの画面に釘付けになっていて、特にサンゴの植え付けの映像などは夢中で見ていました(笑)」

▲長男が捌いた魚の記録

綺麗な海を守るためにできること

交流会では、「サンゴの生育がなぜもずくの生育にも関わるのか?」と質問した兼重さん親子。それに対して恩納村漁協の方からは「サンゴはいろんな生き物を育てる源となっています。サンゴが綺麗に育つと海が綺麗になります。もずくは綺麗な海でしか育たないのでサンゴの植え付けがとても重要です」という回答をもらったことが最も印象に残ったといいます。「これまで疑問に思っていたことが、生産者さんと話せたことで解決し、納得できたのがスッキリしました」。また、交流会後には、『恩納村産味付けもずく』を意識して購入するようになったそうです。「同じもずくを買うなら、『恩納村の海のために寄付されるもずく基金マークの付いているものを』と考えています。すっぱいから食べないかなーと思っていた2歳の子も、この味付けもずくはぺろりと食べて驚きました」。

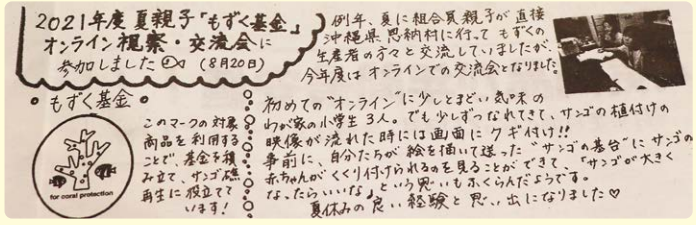
子どもたちの成長を感じられました

今年の夏休みの課題は、〝海の環境を守るために〟というテーマで小学生3人の子どもたちが力を合わせて作成。「日本海と瀬戸内海の砂浜のゴミの量を比較したり、もずく交流会で学んだことをまとめました。それが市の作品展にも選ばれて、夏休みの初めからずっと取り組んできたことだったので、子どもたちもとても喜んでいました」。

また、先日海釣りに行った際には、海岸に落ちているゴミの多さに残念がったり、「このエサまだ使えるから使おう」と無駄なく使おうとしたり、子どもたちの良い姿が見られたといいます。「もずく交流会を通して環境を守ることの大切さを子どもたちが徐々に実感してきていると思います。これからも環境のために何ができるのか、親子で一緒になって考えていきたいです」。

▲兼重さんとお子さんたち

兼重 智恵美さん

地域ニュースでも紹介!

ここめ～る9月号(中部地域の宅配利用者に配られるニュース)で交流会の様子を紹介。「恩納村の海のことや、もずく基金のことをまだまだ知らない組合員さんも多くいらっしゃるのでそんな方に知ってもらえれば嬉しいです」。